

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



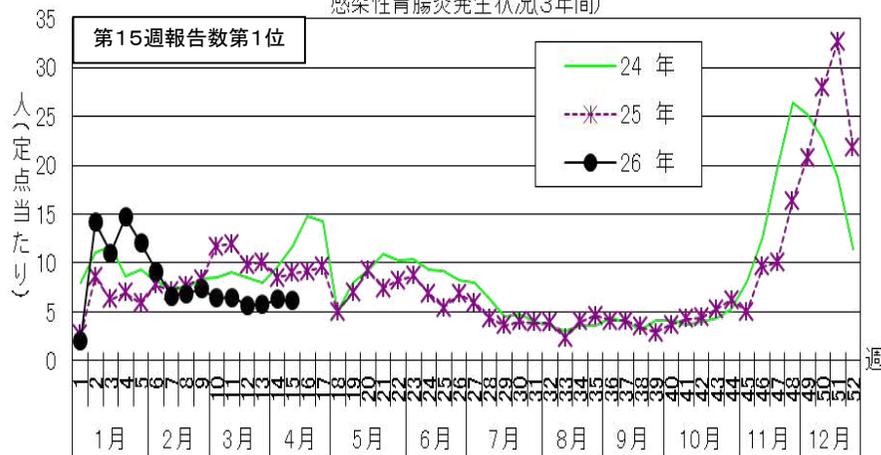
KAWASAKI CITY



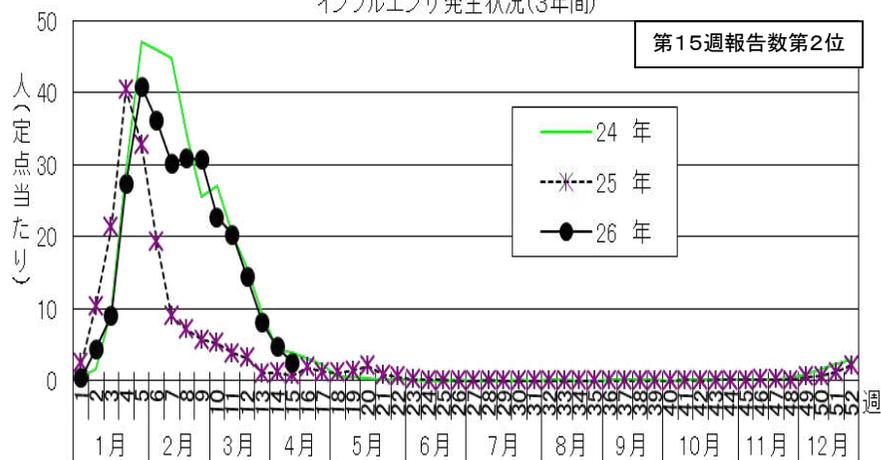
平成26年4月7日（月）～平成26年4月13日（日）〔平成26年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり6.18人と前週（6.30）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 インフルエンザは定点当たり2.50人と前週（4.61）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.18人と前週（1.24）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外旅行に行く際の予防接種について～

もうすぐゴールデンウィークです。休暇を利用して海外旅行に行かれる方も多いと思います。海外では、通常日本で感染しないような病原体に感染する可能性があります。予防接種で防ぐことができるものもあります。

必要な予防接種は、渡航地、滞在期間、滞在目的などによって異なります。次の記載を参考にしてご検討ください。

渡航前に予防接種が推奨される疾患と対象者

- 黄熱**: 感染リスクのある地域に渡航する人
- A型肝炎**: 途上国に中・長期(1か月以上)滞在する人、特に40歳以下
- B型肝炎**: 血液や体液に直接接触する可能性のある人
- 破傷風**: 渡航先でけがをする可能性の高い人
- 狂犬病**: イヌやキツネ、コウモリなどの多い地域へ行く人、動物と直接接触する可能性の高い人
- ポリオ**: 流行地域に渡航する人
- 日本脳炎**: 流行地域に長期滞在する人(主に東南アジアで豚を飼っている農村部)
- 麻しん・風しん**: 1回も接種していない人、2回目を接種していない人

